

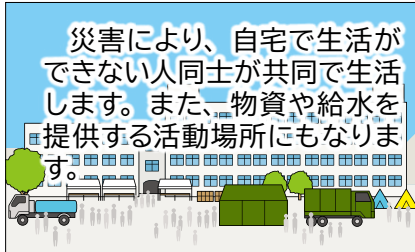
危険なときに避難する場所

災害時に避難する場所は、「指定緊急避難場所」、「指定避難所」の2種類あります。避難所で生活する場合は、自分たちができること、できそうなことを、役割分担をしたり、協力して実施しましょう。

指定緊急避難場所



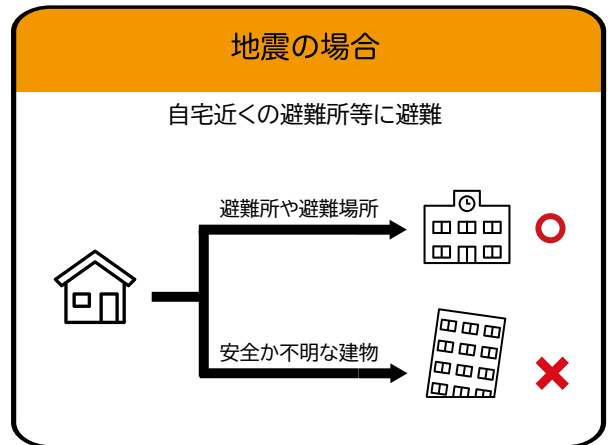
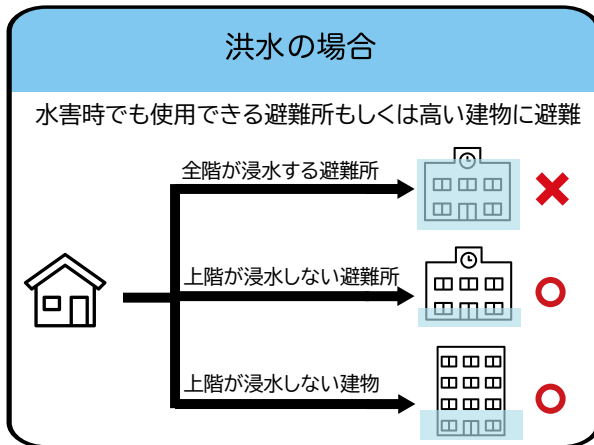
指定避難所



福祉避難所

特別な配慮を必要とする病気や障がいをお持ちの方が、通常の避難所での生活が困難な場合に避難する避難所です。身体状態や介護状況を考慮し、福祉避難所への入所を判断された方が利用します。

洪水と地震で避難する施設の違い



避難所での生活では

避難所での生活では、自宅とは違って、とても不自由で、ストレスや疲労によって、体調を崩される方もいます。避難者同士の共同生活では、ルールやマナーを守りましょう。

移動を手伝う



車椅子で移動している人を手伝います。

周囲に状況を伝える



耳が聞こえにくい人に筆記用具やスマートフォンで状況を伝えます。

食事等の配膳



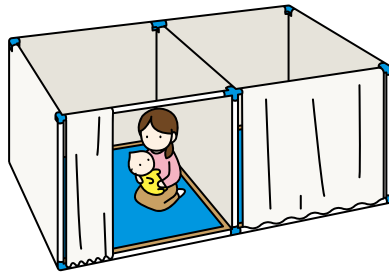
市役所やボランティア団体などから提供された食事の配膳を行います。

防犯対策



友達や家族と一緒にトイレや着替えを行います。一人で行動せずにできるだけ集団で行動しましょう。

プライバシーを守る



居住スペースは個々の「家」と同じです。特に女性、乳幼児、要配慮者などにも気を配りましょう。

感染症の予防



風邪、インフルエンザなどの感染症が流行しやすくなります。こまめに手洗い、うがいを行います。

避難スペースの相談



配慮が必要な方は、顔見知りの人と同じ場所にしてもらうため、避難スペースを相談します。

不足物資等の申出



避難所で生活していく中で、不足する生活必需品や物資のニーズを申し出ます。

困っていることを伝達



配慮が必要な方は、自分の状況や困っていることを早めに伝えます。

トイレの使い方



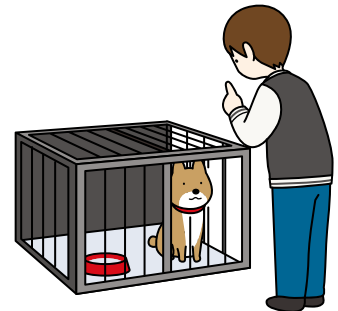
みんなで協力して清掃を行い、使いやすいトイレを維持します。

ルールを守る



周囲の人に迷惑がかからないよう、受動喫煙防止及び火災防止のために、ルールに従います。

ペットの世話



避難所のルールに従って、飼い主が責任を持って世話をを行います。